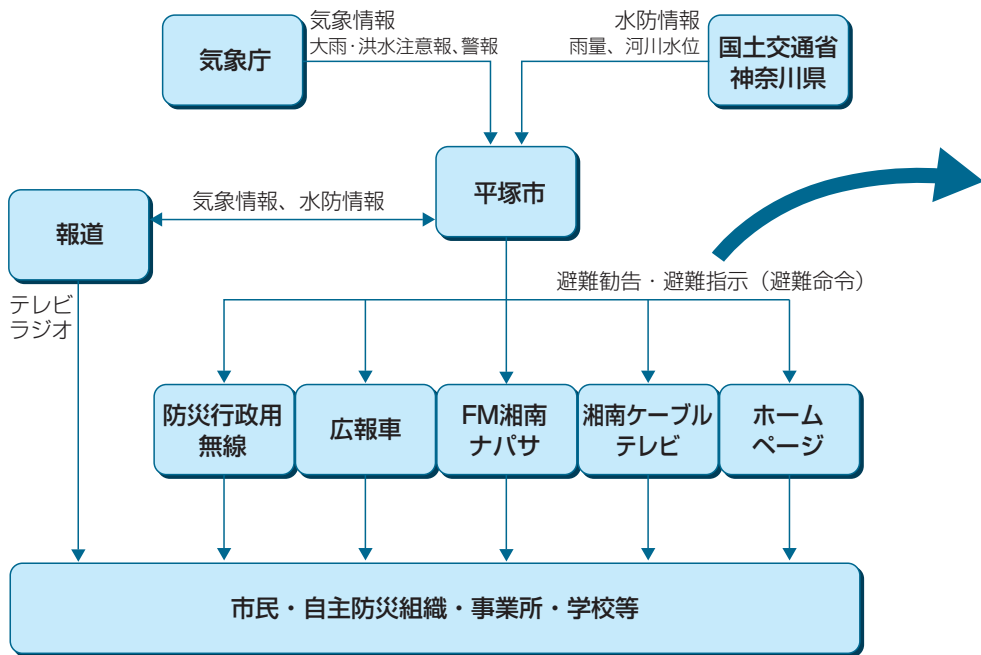


情報の伝達経路

洪水時には、みなさんに色々な情報を市から発信します。



避難勧告・避難指示

緊急時にみなさんへ呼びかけます。ご近所の高齢者や障害のある方にも声をかけて避難しましょう。

避難勧告	避難指示（避難命令）
・拘束力はありません。 ・避難のための立ち退きを勧め、促すものです。	・危険が目前に近づいているときに発令します。
「堤防が決壊するおそれがありますので、避難を始めてください。」	「堤防が決壊する危険がありますので、直ちに避難場所に避難してください。」
指定された避難場所に速やかに避難を始めましょう。	指定された避難場所に直ちに避難しましょう。

【市からの呼びかけ】

【とるべき行動】

※避難の必要がなくなった場合には、市から防災行政用無線、広報車、FM湘南ナパサなどを使って呼びかけます。

雨の降り方

日ごろから家の周りの浸水状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。



【やや強い雨】
(1時間に10～20mm)

ザーザーと降る雨

この程度の雨でも長く続く時は注意が必要です。



【強い雨】
(1時間に20～30mm)

どしゃ降りの雨

側溝や下水、小さな川があふれたり、小規模ながけ崩れが起きたりします。



【激しい雨】
(1時間に30～50mm)

バケツをひっくり返したように降る雨

山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。下水管から雨水があふれることがあります。



【非常に激しい雨】
(1時間に50～80mm)

滝のように降る雨

地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があります。マンホールから水が噴出します。



【猛烈な雨】
(1時間に80mm以上)

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨

雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

避難の心得

いざというときに備えて、日ごろから避難の心得を確認しておきましょう。

気象情報や災害情報を確認しましょう



- 台風などの大雨が近づいてきたら、テレビやラジオの情報に注意しましょう。

車での避難はやめましょう



- 車が浸水して動かなくなったり、氾濫の流れにのり、家屋を破壊したりします。
- 復旧活動の妨げになります。

速やかに避難場所に避難しましょう



- 危険が迫ったときは、防災行政用無線、広報車、FM湘南ナパサなどで避難を呼びかけます。
- 浸水するとあっという間に水かさが増し、流れも速くなり危険です。浸水前に避難しましょう。

もし、浸水してしまったら



- なるべく外に出ないで、2階や屋根などの高い場所に移動しましょう。
- 夜間の場合は、存在が分かるように懐中電灯を持ちましょう。
- 野外にいる場合は、できるだけグループで行動しましょう。
- 側溝や排水路に転落しないように注意しましょう。

わが家の防災メモ

災害が起きたときの避難場所や連絡先などを家族で確認し、あらかじめ書き込んでおくといざというときに役立ちます。

わが家の避難場所

災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	携帯電話/ 会社・学校の電話番号

持出品リスト	<input type="checkbox"/> 懐中電灯（電池）	<input type="checkbox"/> 洪水ハザードマップ
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（電池）	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ろうそく（マッチ）	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 医薬品	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 現金・貴重品	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 下着類	<input type="checkbox"/>
	※使用期限を確認しておきましょう。	